

平成 19 年度

産業・情報技術等指導者養成研修報告

岡山県立井原高等学校

中野 功

本研修は一昨年度は東京農業大学，昨年度は岡山県立高松農業高等学校を会場に開催され，本年度で3年目を迎えるものであり，主な研修内容は科目「生物活用」における理論と交流活動のプログラム・評価等に関するものであった。

1 主 催 独立行政法人教員研修センター

2 共 催 文部科学省，教育関係団体，大学等

3 実 施 全国農業高等学校長協会

4 期 間 平成 19 年 7 月 30 日(月)～8 月 3 日(金)

5 会 場 東京都立農産高等学校

6 研修日程

7 月 30 日(月)	①開校式・オリエンテーション ②生物活用の意義と動向 ③自己紹介・交流プログラム紹介 ④「生物活用」事例発表
7 月 31 日(火)	①交流活動の進め方・演習 ②作業の分析と効果 ③ファシリテーション法とは ④対象者の評価 ⑤インタープリテーション法：事例発表
8 月 1 日(水)	① 幼児・児童との園芸活動 ②高齢者・障害者を行う園芸 ③高齢者・障害者に対する園芸 シュミレーション ④プログラミング演習
8 月 2 日(木)	①生徒の評価・観点別評価 ②生物活用の評価の具体例 ③移動動物園・動物の活用 ④ハイセラーの今後の可能性 ⑤障害者の農業就労の流れ ⑥プログラミング演習
8 月 3 日(金)	①プログラミング演習・発表 ②生物活用・新しい授業展開の可能性 ③閉講式